

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ

(2025年1月27日(月)～2月2日(日))

岸和田聖書教会

牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまに目を向け、主をみことばによって食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)。神さまがあなたを呼んでおられます。
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

今週も続けて「ルカの福音書」を読み進めます。

1月27日(月)

今日の聖書日課：ルカ 7:36～50

ですから、わたしはあなたに言います。この人は多くの罪を赦されています。彼女は多く愛したのですから。赦されることの少ない者は、愛することも少ないのです。

ルカ 7:47

多く愛すると、多くの罪が赦される。のではありません。多く愛することは、多くの罪が赦されていることのしるしなのです。「一人の罪深い女」(37)は、多くの罪がイエスによって赦されていることをイエスとともにいることによって、イエスのことばを聞いて悟り、イエスへの愛を現わしたのです。

私たちもイエスさまに、自分の愛を示します。私たちの奉仕とは主への愛の現われなのです。イエスさまが先に、私たちを愛し、赦してくださったからです。

1月28日(火)

今日の聖書日課：ルカ 8:1～15

イエスは言われた。「あなたがたには神の国の奥義を知ることが許されていますが、ほかの人たちには、たとえで話します。『彼らが見ていても見ることがなく、聞いていても悟ることがないように』するためです。

ルカ 8:10

よく知られている「種まきのたとえ」。イエスのたとえ話。しかし、最初にこれを聞いた弟子たちはイエスの話の意味が分からず、「このたとえがどういう意味なのか」イエスに尋ねました。それに対するイエスの答えが冒頭の聖句。「たとえ」で話すのは、わかりやすくするためではありません。「このたとえはどういう意味なんだろう？」とみことばに集中するためなのです。そして開かれた心でみことばを聞くとともに、たとえは理解できるのです。

私たちが聖書のみことばを聞くとともに同じです。むずかしいと思っても、神さまを見上げて、心を開いて素直に聞くとともに、みことばのメッセージが心に響いてくるのです。

1月29日(水) 本日は祈祷会の日です。

今日の聖書日課：ルカ 8:16～25

しかし、イエスはその人たちにこう答えられた。「わたしの母、わたしの兄弟たちとは、神のことば

を聞いて行かう人たちのことです。」

ルカ 8 : 21

イエスの母と兄弟たちがイエスのもとにやって来ました。イエスを信じていたからではありません。人々が「イエスはおかしくなった」と言うのを聞いて、イエスを連れ戻しに来たのです（マルコ 3 : 21）。彼らはイエスを信じていなかったのです。冒頭のイエスのことば。イエスの母マリア、そして兄弟たちはどう思ったのでしょうか？この時点でまだイエスのことをメシアであると信じていません。「イエスはおかしくなった」とさらに思ったことでしょうか。しかし、マリアはこのときもまたこのイエスのことばを「心に留めておいた」のではないのでしょうか？（2 : 51）。

信じていないときに語られたみことばもまた、意味があるのです。

1月30日（木） 本日は英会話クラスが行われます。

今日の聖書日課：ルカ 8 : 26~39

「あなたの家に帰って、神があなたにしてくださったことをすべて、話して聞かせなさい。」それで彼は立ち去って、イエスが自分にしてくださったことをすべて、町中に言い広めた。

ルカ 8 : 39

これが「証し」です。「イエスが自分にしてくださったこと」を語る。今日の一日の中で、イエスさまがあなたのしてくださった良いこと。それを明日、語りましょう。

1月31日（金）

今日の聖書日課：ルカ 8 : 40~56

これを聞いて、イエスは答えられた。「恐れなくて、ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われます。」

ルカ 8 : 50

会堂つかさヤイロへのイエスのことば。ヤイロにとって、あの長血の女のいやしは、娘の癒やしのさまたげ以外の何ものでもありませんでした。しかしイエスは、長血の女のいやしと今、目の前で起こっている問題とが無関係でないことを示されました。イエスは長血の女にこう言われました「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。」（48）。これをヤイロは聞いていました。そして今、イエスは娘が死んだ、そのニュースを前にこう言われたのです。「恐れなくて、ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われます。」

神さまの計画は、私たちにははかりしれません。大切なのは、私たちがこのお方をただ信じる、信じ続けることです。

2月1日（土）

今日の聖書日課：ルカ 9 : 1~17

そこでイエスは、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げ、それらのゆえに神をほめたたえてそれを裂き、群衆に配るように弟子たちにお与えになった。

ルカ 9 : 16

「それらのゆえに」とは、男だけで5,000人という群衆のための食べ物五つのパンと二匹の魚だった、そのゆえに、ということ。それって良くないこと、何の意味もないことではないか？しかしイエスは、「それらのゆえに神をほめたたえ」られました。この状況を感謝されたのです。おかしくないですか？いや、これが信仰なのです。このことによって後に人々は満腹し、神の栄光が現わされたのだから。

2月2日（日）

本日の礼拝説教箇所：ルカ 9 : 18~27「自分の十字架を負って」

聖餐式が行われます。ともに、救いの恵みにあずかりましょう。